

計画事業番号	00324	事務事業名	大学連携推進事業	担当部署	企画財政部企画課	電話	3603
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等				
事務事業開始年度	平成23年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章)	人と文化を育むまち
	(第 9 節)	大学との連携
	(施策 1)	大学との連携
2 対象	大学	
3 目的と内容	大学が有する知的資源、研究成果やアイデア、大学生の活力を生かしたまちづくりを推進するため、大学等との連携・協力を推進する。 ・包括連携協定に基づく星槎道都大学との地域連携推進協議会の開催、連携事業の実施 ・星槎道都大学以外の大学との連携事業の実施	
4 実施内容(手段)	2017年度まで	・星槎道都大学との包括連携協定に基づく連携協議会や各種連携事業の実施 ・星槎道都大学生を対象としたキャリア支援演習の実施 ・星槎道都大学生のインターンシップの受入れ ・北広島市学生地域活動支援事業補助金制度の運用 ・広葉交流センター内の星槎道都大学サテライトキャンパスの利用促進 ・北海学園地域連携特別講座の開催
	2018年度	・星槎道都大学との包括連携協定に基づく連携協議会や各種連携事業の実施 ・星槎道都大学生を対象としたキャリア支援演習の実施 ・星槎道都大学生のインターンシップの受入れ ・北広島市学生地域活動支援事業補助金制度の運用 ・広葉交流センター内の星槎道都大学サテライトキャンパスの利用促進 ・北海学園地域連携特別講座の開催

【事業の計画・実績】

2017年度		2018年度	2019年度	2020年度
計画	実績	計画	計画	計画
・各種連携事業の実施 ・連携事業の連絡・調整	・学生地域活動支援事業補助金:3件へ助成 【星槎道都大学関係】 ・地域連携協議会 3回開催 ・委員依頼:13事業 ・講師依頼:3事業 ・ボランティア依頼:16事業 ・軽音フェス等の連携事業	・各種連携事業の実施 ・連携事業の連絡・調整	・各種連携事業の実施 ・連携事業の連絡・調整	・各種連携事業の実施 ・連携事業の連絡・調整

【評価結果・評価コメント】

総合判定		2019年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	星槎道都大学との包括連携協定に基づき連携可能な事業の実施に向けた検討を継続的に行うとともに、各種連携事業の活動状況について市民への情報発信を進める。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		747	738	776	776		
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0	
		道支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		一般財源	747	738	776	776	
	① 合計	747	738	776	776		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
	④ =②×③	1,680	0	1,680	0	1,680	0
総事業費①+④		2,427	2,418	2,456	2,456		

【評価指標】

指標名		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
活動指標	①学生地域活動補助金制度補助申請件数	目標値	10	10	10	10
		実績値	4			
	②学生地域活動補助金制度補助決定件数	目標値	3	3	3	3
		実績値	3			
③インターンシップ生の受入れ件数	目標値	3	3	3	3	
	実績値	1				
④	目標値					
	実績値					
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
【指標の定義(算式等)】	実績値					
③	目標値					
【指標の定義(算式等)】	実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	大学が有する知的資源・研究成果、大学生の活力をまちづくりに生かすものであり、行政が関与することは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	学生地域活動支援事業補助金制度により学生の自主的な活動を支援し、成果が上がっているところであるが、今後も連携可能な事業の実施に向けた検討を継続的に行う。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	継続的な取組により成果が向上していくものとする。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	大学が有する資源を生かしてまちづくりを進めるものであり、経済性は確保されている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。	